

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1・5組：兜坂）（2・3・4組：堀田）（6・7・8組：本間）

使用教科書：（143 筑摩 論国710）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】読み書きで論理的に考える力を伸ばし、創造的に考える力、伝え合う力を身につけ、自分の思いや考えを広げる。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ、我が国の文化の担い手としての自覚を深める。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	読み書き領域で、論理的、批判的に考える力を伸ばし、創造的に考える力や他者と伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとするとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、考え方を深めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 「貨幣共同体」 資本主義と貨幣という評論頻出 テーマについて理解する。 読み書き領域で、論理的、批判的 に考える力を伸ばし、創造的に考 える力や他者と伝え合う力を高める。	・指導事項 ①本文を通して、タイトル、具体例 や引用の使い方などの表現技法、効 果的な主張の仕方について考える。 ②意見を集め、何かを決めていくと きに、どのような手順で話し合いを 進めていくかを考える。 ③個人が社会に対して自分の意見を 訴える際にはどのようなことに気 をつけないといけないかを考える。 ・教材 ・一人1 台端末の活用 「議会占拠 二十四日間の記録」視聴 等	【知識・技能】 文中に含まれた語句を通して、論証したり学 術的な学習の基礎を学ぶために必要な語句の量 を増し、語彙を豊かにすることができている。 【思考・判断・表現】 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分 の立場や論点を明確にして、主張を支える適切 な根拠をそろえることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 発表の態度は積極的で、ニュースで見聞きし たことや他の人の発表も注意深く聞き、ものの 見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	○	○	○	6
	補助教材 定番小説 単元「舞姫」 (前半) ・文語文体の小説に慣れ親しみ、そ の文体や表現の特色を理解する。 (知識及び技能) ・登場人物の性格や心理、感情の動 きなどを正確に把握し、人間への理 解を深める。(思考力、判断力、表 現力等) ・作中の時代背景を確認し、そこに 描き出された時代や社会へ関心を深 める。(学びに向かう力、人間性 等)	・指導事項 ①語り手「余」の存在とその置かれ ている状況を把握させる。 ②主人公がこの手記を綴ろうとする 動機をまとめさせる。 ③豊太郎の生い立ちと家庭環境、ベ ルリンでの体験の意味、自分の本性 を捉えるまでの過程を整理させる。 ④舞台であるベルリンの状況、エリ スがどのような少女として描かれて いるかを把握させる。 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 文語文体を認識し、状況や感情の説明を可能 にする働きがあることを理解して、時代背景や 社会的状況を知る。 【思考・判断・表現】 読解を通して、登場人物の性格や心情、感情 の動きなどを正確に把握し、小説の主題を深く 探り、それが自己の問題とどのように関わるか を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 作中の時代背景を確認し、そこに描き出され た時代や社会へ関心を深めて、その時代に生き ていた人々への理解を深める。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	補助教材 定番小説 単元「舞姫」 (後半) ・小説がどのように組み立てられて いるか、その構成や語り手の課題を 考察する。(知識及び技能) ・小説の主題を深く探り、それが自 己の問題とどのように関わるかを考 える。(思考力、判断力、表現力 等) ・近代文学の流れを把握し、この作 品の文学史的意義を明らかにする (学びに向かう力、人間性等)	・指導事項 ①免官と母の死が主人公にもたらし た意味を考えさせる。 ②主人公とエリスとの関係の変化を 把握し、まとめさせる。 ③豊太郎と天方伯、相沢、エリスと の関係を整理し、主人公への影響を 確認し、どのような意味を持つかを 指摘させる。 ④豊太郎にはなぜ相沢を憎む心が 残っているのかを考えさせる。 ・教材「舞姫」井上靖訳 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 読解を通して、文章の種類を踏まえて、主旨 を把握できる。 作者についての文学史上の意味を学ぶ。 【思考・判断・表現】 小説がどのように組み立てられているか、そ の構成や語り手の課題を考察する。 小説の組み立てについて、物語の構成を把握 し、語り手の問題意識を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、 ものの見方、考え方を深め、自らの学習を調整 しようとする。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	単元「ものごと」 抽象的な言葉で表現されている哲 学的な内容を理解する力をつける。	①本文の「主体」ということばに注 意しながら筆者の論旨を把握させ る。 ②「行動する主体」としての自分自 身のふるまいについて、考えさせ る。 ③「この地球社会に山積した問題」 に向き合おうとするとき、どのよ うなことが必要か、本文の主旨を踏 まえて話し合う。 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 文中に含まれた語句を通し、文章の中で使う ことを意識し、語感を磨き語彙を豊かにするこ とができる。 【思考・判断・表現】 読解を通して、評論文という文章の種類を踏 まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に 捉え、論点を明確にすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉を通して他者や社会に関わり、ものの見 方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整 しようとしている。	○	○	○	8

	「共通テスト対策 現代文完答 2」他	・指導事項 演習問題に取り組み、解説を踏まえ共通テストの解法を学ばせる。 ・教材 種々の共通テスト対策問題集 センター試験等過去問題 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 選択問題が中心となる共通テストの解法の基本を理解している。 【思考・判断・表現】 読解を踏まえて、本文の正確な把握と、細部の正誤の判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら探して、新たな問題集や過去問に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	「共通テスト対策 現代文完答 2」他	・指導事項 演習問題に取り組み、解説を踏まえ共通テストの解法を学ばせる。 ・教材 種々の共通テスト対策問題集 センター試験等過去問題 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 選択問題が中心となる共通テストの解法の基本を理解している。 【思考・判断・表現】 読解を踏まえて、本文の正確な把握と、細部の正誤の判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら探して、新たな問題集や過去問に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	「共通テスト対策 現代文完答 2」他	・指導事項 演習問題に取り組み、解説を踏まえ共通テストの解法を学ばせる。 ・教材 種々の共通テスト対策問題集 センター試験等過去問題 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 選択問題が中心となる共通テストの解法の基本を理解している。 【思考・判断・表現】 読解を踏まえて、本文の正確な把握と、細部の正誤の判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら探して、新たな問題集や過去問に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	定期考査	。		○	○		1
	「共通テスト対策 現代文完答22」他	・指導事項 演習問題に取り組み、解説を踏まえ共通テストの解法を学ばせる。 ・教材 種々の共通テスト対策問題集 センター試験等過去問題 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 選択問題が中心となる共通テストの解法の基本を理解している。 【思考・判断・表現】 読解を踏まえて、本文の正確な把握と、細部の正誤の判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら探して、新たな問題集や過去問に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	6
3 学期	「共通テスト対策 現代文完答 2」他	・指導事項 演習問題に取り組み、解説読解を含む共通テスト対策を実施する。 ・教材 種々の共通テスト対策問題集 センター試験等過去問題 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 選択問題が中心となる共通テストの解法の基本を理解している。 【思考・判断・表現】 読解を踏まえて、本文の正確な把握と、細部の正誤の判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら探して、新たな問題集や過去問に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	6
							合計 76

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 国語 科目 古典演習

教科：国語 科目：古典演習 単位数：4 単位

対象学年組：第 3 学年 4 組～ 8 組

教科担当者：（ 4組：本間 ） （ 5・7組：堀田 ） （ 6・8組：兜坂 ）

使用教科書：（ 古典探究 筑摩書房 ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典探究 の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしていくとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	古文編 第3章 長編の魅力～物語（一） 源氏物語「車争い(葵巻)」 ○長編物語の展開と人物の状況や 思いを理解する ※『源氏物語』の虚構 鈴木日出男	・指導事項 ①語句の正確な理解によって、場 面や状況を的確に捉える。 ②登場人物の心理や行動の描き方 を深く味わう。 ③助詞の用法を理解する。 ④敬語の用法を理解する。 ・源氏物語小テスト ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 「源氏物語」に用いられている語句の意味 や用法を理解し、古典を読むために必要な語 句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙 を豊かにすることができている。 【思考・判断・表現】 「源氏物語」の成立した背景や他の作品な どとの関係を踏まえながら古典などを読み、 その内容の解釈を深め、作品の価値について 考察することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯にわたって古典に親しみ自己を向上さ せ、我が国の言語文化の担い手としての自覚 をも深めようとしている。	○	○	○	18
	漢文編 第2章 主張と文体 「五柳先生伝」 ○多面的・多角的な視点を養う	・指導事項 ①伝記文学について理解する。 ②本文に用いられた句法を理解す る。 ③漢文の特色を声に出して味わ う。	【知識・技能】 「五柳先生」における文の成分の順序や照 応、文章の構成や展開の仕方について理解を 深めることができている。 【思考・判断・表現】 故事成語という文章の種類を踏まえて、古 典特有の表現に注意して内容を的確に捉える ことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心を持っている。	○	○	○	9
	定期考査						1
	古文編 第4章 自己を語る～日記 和泉式部日記 「夢よりもはかなき世の中を」 ○自分を語る表現を探究する ○文章の構成や展開に注意し、 作者の考えを理解する	・指導事項 ①作者は周囲の人物をどのように 見ていたのか、その人物との関係 に留意しつつ、文章から読み取 る。 ・古文単語小テスト ・明説漢文確認テスト ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 「和泉式部日記」に表れている、言葉の響 きやリズム、修辞などの表現の特色について 理解を深めることができている。 【思考・判断・表現】 「和泉式部日記」の読解を通して、関心を もった事柄に関連する様々な古典の作品や文 章などを基に、自分のものの見方、感じ方、 考え方を深めることができている。 和泉式部の内面と外からの評価を考え合わ せ、自分の和泉式部像を持つことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習の見通しをもって言葉がもつ価値への 認識を深めようとしている。	○	○	○	18
	漢文編 第4章 言動の真意～史伝 「怒髪上衝冠」 ○背景や状況を踏まえ、登場人物 の言動の真意を理解する	・指導事項 ①登場人物の言動をまとめ、司馬 遷がどのように当時の武将を描い ているか、把握する。 ②本文に用いられた句法を理解す る。 ③漢文の特色を声に出して味わ う。	【知識・技能】 「史記」を通して、時間の経過による言葉 の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにも たらした影響について理解を深めることがで きている。 【思考・判断・表現】 「史記」について、内容や解釈を自分の知 見と結び付け、考えを広げたり深めたりす ることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習の見通しをもって言葉がもつ価値への	○	○	○	9
	定期考査						1

2 学 期	古文編 第6章 歴史を紡ぐ～物語(二) 大鏡「道長、栄華への第一歩」 ○物語の解釈を踏まえて、自分 なりの考えを深める	・指導事項 ①具体的なエピソードを通して登 場人物の人となりを読み取る。 ②本文の主語は何か考える。 ・古文単語小テスト ・明説漢文確認テスト ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 「大鏡」を読むことを通して、我が国の文 化の特質について理解を深めることができ ている。 【思考・判断・表現】 「大鏡」の成立した背景や他の作品など の関係を踏まえながら古典などを読み、その 内容の解釈を深め、作品の価値について考察 することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯にわたって古典に親しみ自己を向上さ せ、我が国の言語文化の担い手としての自覚 をも深めようとしている。	○	○	○	18
	漢文編 第4章 行動の真理～史伝 史記「刎頸之交」 ○背景や状況を踏まえ、登場人物 の言動の真意を理解する	・指導事項 ①登場人物の言動をまとめ、司馬 遷がどのように当時の武将を描い ているか、把握する。 ②本文に用いられた句法を理解す る。 ③漢文の特色を声に出して味わ う。	【知識・技能】 「史記」を通して、時間の経過による言葉 の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにも たらした影響について理解を深めることがで きている。 【思考・判断・表現】 「史記」について、内容や解釈を自分の知 見と結び付け、考えを広げたり深めたりす ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習の見通しをもって言葉がもつ価値への 認識を深めようとしている。	○	○	○	11
	定期考査						2
	古文編 第3章 長編の魅力～物語(一) 源氏物語「心づくしの秋」 ○長編物語の展開と人物の状況や 思いを理解する	・指導事項 ①語句の正確な理解によって、場 面や状況を的確に捉える。 ②登場人物の心理や行動の描き方 を深く味わう。 ③助詞の用法を理解する。 ④敬語の用法を理解する。 ・古文単語小テスト ・明説漢文確認テスト ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 「源氏物語」の読解を通して、先人のもの の見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のも のの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書 の意義と効用について理解を深めることがで きている。 【思考・判断・表現】 「源氏物語」の読解を通して、関心をもつ た事柄に関連する様々な古典の作品や文章な どを基に、自分のものの見方、感じ方、考え 方を深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わ り、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見 方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調 整しようとしている。	○	○	○	18
	古文・漢文 入試問題演習 「共通テスト対策 古典完22」他 ○共通テスト型マーク問題に慣 れる	・指導事項 演習問題に取り組み、解法解 説を含む共通テスト対策を実施す る。 ・教材 種々の共通テスト対策問題集 センター試験等過去問題	【知識・技能】 選択問題が中心となる共通テストの解法の基 本を理解している。 【思考・判断・表現】 読解を踏まえて、本文の正確な把握と、細 部の正誤の判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら探して、新たな問題集や過去問題に意 欲的に取り組んでいる。	○	○	○	11
3 学 期	定期考査						1
	古文・漢文 入試問題演習 「共通テスト対策 古典完22」他 ○共通テスト型マーク問題に慣 れる	・指導事項 演習問題に取り組み、解法解 説を含む共通テスト対策を実施す る。 ・教材 種々の共通テスト対策問題集 センター試験等過去問題	【知識・技能】 選択問題が中心となる共通テストの解法の基 本を理解している。 【思考・判断・表現】 読解を踏まえて、本文の正確な把握と、細 部の正誤の判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら探して、新たな問題集や過去問題に意 欲的に取り組んでいる。	○	○	○	39
							合計 156

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科：地理歴史 科目：世界史探究 単位数：5 単位
対象学年組：第 3 学年 5 組～ 8 組
教科担当者：（5組：中橋 6組：中橋 ）（7組：中橋 （8組：中橋 （ 組： ）（ 組： ）
使用教科書：（『詳説世界史』山川出版社）
教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】世界の地理的特色と日本及び世界の歴史について理解し、諸資料からまとめる技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味・意義・概念などを活用し、多角的に考察し、効果的に説明し議論する力を
【学びに向かう力、人間性等】課題を主体的に解決しようとする態度を養い、わが国への愛情、他国の文化を尊重する自覚を深める。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	【知識及び技能】古代文明の特徴について諸文明の共通点や相違点を踏まえて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組ませる。	第1章 文明の成立と古代文明の特質 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成	【知識及び技能】資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	33
1 学期	定期考査			○	○	○	1
	【知識及び技能】資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】諸地域の交流・再編について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組ませる。	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	【知識及び技能】資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】諸地域の交流・再編について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	35
	定期考査			○	○	○	1

2 学 期	【知識及び技能】資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】諸地域の交流・再編について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組ませる。	第9章 大交易・大交流の時代 第10章 アジアの諸帝国の繁栄 第11章 近世ヨーロッパ世界の動向	【知識及び技能】資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】諸地域の交流・再編について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	33
	定期考查			○	○	○	1
	【知識及び技能】資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】諸地域の交流・再編について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組ませる。	第12章 産業革命と環大西洋革命 第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 第14章 アジア諸地域の動揺	【知識及び技能】資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】諸地域の結合・変容に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の結合・変容を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】諸地域の交流・再編について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	40
	定期考查			○	○	○	1
3 学 期	全範囲の実践演習	・指導事項 実践演習。個別指導等 ・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・全範囲の内容に関する各種データや知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	50
	【知識・技能】 全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】 全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。					合計	
							195

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史演習

教科： 地理歴史 科目： 日本史演習 単位数： 5 単位

対象学年組：第 3 学年 4 組～ 8 組

教科担当者：（4組：安田） （5組：安田） （6組：赤羽） （7,8組：赤羽）

使用教科書：（『詳説日本史』山川出版社）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】世界の地理的特色と日本及び世界の歴史について理解し、諸資料からまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味・意義・概念などを活用し、多角的に考察し、効果的に説明し議論する力

【学びに向かう力、人間性等】課題を主体的に解決しようとする態度を養い、わが国への愛情、他国の文化を尊重する自覚を深める。

科目 日本史演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	日本の歴史の展開に関わる事象の意義などを多面的・多角的に考察し、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	日本の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解を通して自国、他国やその文化を尊重する自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	第8章近世の幕開け 第9章幕藩体制の成立と展開 【知識及び技能】織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して、諸資料をもとに江戸幕府の法や制度の確立や対外政策の推移について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】織豊政権と幕府の支配の構造の相違点や、江戸幕府による貿易統制の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】幕藩体制が確立する過程における様々な画期について考察し、主体的に追究しようとしている。 定期考査	・指導事項 幕藩体制の確立期の経済・社会を、兵農分離や村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察する。被支配身分の特質や、周縁部分に生きる人々の社会的役割について理解する。17世紀後半から18世紀前半までの江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。 ・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】幕藩体制が確立する過程における様々な画期について基本的事項を理解する。 【思考・判断・表現】学習したことをもとに、幕藩体制が確立する過程における様々な画期について論ずることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】学習したことをもとに、幕藩体制が確立する過程における様々な画期について、課題を設け追求する。	○	○	○	30
	定期考査			○	○	○	1
	第10章幕藩体制の動揺 第11章近世から近代へ 【知識及び技能】政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について多面的・多角的に考察する。明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究する。 ・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	・指導事項 政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について多面的・多角的に考察する。明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究する。 ・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】幕藩体制の崩壊と新政権の成立について基本的事項を理解する。 【思考・判断・表現】学習したことをもとに、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について論ずることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】学習したことをもとに、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について課題を設け追求する。	○	○	○	39
	定期考査			○	○	○	1

2 学 期	第12章近代国家の成立 第13章近代国家の展開 【知識及び技能】立憲体制への移行，国民国家の形成等の諸資料から情報を読み取り，この時期の戦争の様相や背景，日本の国際的地位の変化を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察し，表現している。 【学びに向かう力，人間性等】近代を考察することを通じて，当時の日本に与えた影響やその課題を主体的に追究しようとしている。	・指導事項 立憲体制への移行，国民国家の形成等について多面的・多角的に考察する。国民生活の変化，認識の変化，軍国主義の風潮が展開する中で生じた様々な課題や，歴史の展開における画期についての課題を見出し，主体的に追究する。 ・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】立憲体制への移行，国民国家の形成等について基本的事項を理解する。 【思考・判断・表現】学習したことをもとに，立憲体制への移行，国民国家の形成等について論ずることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】学習したことをもとに，立憲体制への移行，国民国家の形成等について，課題を設け追求する。	○	○	○	39
	定期考査			○	○	○	1
	第14章近代の産業と生活 第15章恐慌と第二次世界大戦 共通テスト歴史総合分野 【知識及び技能】諸資料から情報を読み取り，この時期の戦争の様相や背景，日本の国際的地位の変化を理解し，国民生活や地域社会の変化に関わる諸資料から情報を読み取っている。 【思考力・判断力・表現力等】日本の国際的地位の変化を理解し，国民生活や地域社会の変化に関わる諸資料から多面的・多角的に考察したりして，その結果を表現している。 【学びに向かう力，人間性等】国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返るとともに，次の学習へのつながりを見出そうとしている。	・指導事項 第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会，国民生活の変容に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 ・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会，国民生活の変容に関する問いに対して，基本的事項を理解する。 【思考・判断・表現】学習したことをもとに，第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会，国民生活の変容について論ずることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】学習したことをもとに，第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会，国民生活の変容について課題を設け追求する。	○	○	○	39
3 学 期	定期考査			○	○	○	1
	全範囲の実践演習 【知識・技能】全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】問題演習や振り返りを通して自らを	・指導事項 実践演習。個別指導等 ・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・全範囲の内容に関する各種データや知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み，課題を分析している。	○	○	○	44
							合計
							195

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3 学年用） 教科 公民 科目 政治・経済

教 科： 公民

科 目： 政治・経済

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担任（ 1、2、3、6、8組：三井 4、5、7 組：佐藤 ）

使用教科書：（ 東京書籍「政治・経済」（政経701） ）

教科 公民

の目標：

【知 識 及 び 技 能】概念や理論などを理解し，諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】社会課題を把握し説明するとともに，解決方法について構想，議論し社会参画に向かう力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，積極的な役割を果たす自覚などを深める。

科目 政治・経済

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代社会の諸課題の解決に向けて探究するための概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	必要な判断の基準となる理論などを活用して，社会課題を把握し説明するとともに，解決方法について構想する力や，議論し公正に判断して社会参画に向かう力を養う。	現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，主権者として，より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	○「法の支配」が民主主義に不可欠であることについて理解する。 ○各国の政治体制と民主政治について考察する。 ○ファシズムが生み出された背景や，民主政治の課題について理解する。	1. 民主政治の基本原則 ○政治の役割と民主政治への道のりについて理解する。 ○「法の支配」の考え方を踏まえ，立憲主義と民主主義の関係について理解する。 ○法が自分の生活にどのように関係しているか話し合う。	【知識・技能】民主政治の成立や社会契約説についての基礎知識を身に付ける。 【思考・判断・表現】「法の支配」の考え方と立憲主義について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】法と自分の生活について議論に積極的に参加する。	○	○	○	7
	○人権の国際化のなかで，日本の人権保障はどうあるべきか考察する。 ○「公共の福祉」はどのような場合に適用されるべきか考察する。	2. 基本的人権の保障 ○人権の国際化の中で日本の人権保障はどうあるべきか話し合う。 ○「公共の福祉」の適用について，人権が対立する具体的な場面をもとに話し合う。	【知識・技能】○日本国憲法の基本原理と基本的人権の内容を理解する。 【思考・判断・表現】○人権の国際化の中で，人権保障はどうあるべきか考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】○「公共の福祉」の適用について，人権が対立する具体的な場面をもとに話し合う。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
	○戦後日本の政党政治の変遷について理解する。 ○日本の選挙制度の特徴や選挙の課題について理解する。 ○世論の形成過程，NP0やインターネットの影響について理解する。 ○憲法における地方自治の規定や，住民の権利について理解する。	3. 選挙と政党政治 ○「55年体制」や金権政治の問題を踏まえ，細川政権下の政治改革の意義と課題について話し合う。 ○日本の地方自治にはどのような課題があり，それをどのように解決すべきか話し合う。	【知識・技能】○地方自治のしくみについて，中央政府と比較して理解する。 【思考・判断・表現】「55年体制」や金権政治の問題を踏まえ，細川政権下の政治改革の意義と課題について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】○日本の地方自治の課題について，具体例を挙げながら積極的に話し合う。	○	○	○	9
	○9条をめぐる意見や，日本の安全保障体制の変化について理解する。 ○集団安全保障のしくみが必要とされた背景や，平和と安全を維持するための国際連合の取り組みについて理解する。 ○国際連合が抱える課題や日本の平和主義について考察する。	4. 日本の平和主義と国際政治 ○防衛関係費の増加や，政府の9条解釈の変遷について考察する。 ○国連の集団安全保障のしくみについて理解する。 ○平和主義と国際協調をどのように両立すればよいか話し合う。	【知識・技能】国連憲章，PKO活動などについて基本事項を理解する。 【思考・判断・表現】日本の安全保障法の変化，防衛費の増加について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】平和主義と国際協調のあり方について話し合う。	○	○	○	3
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	○家計および企業の経済活動や，相互関係について理解する。 ○市場における価格の役割や，「市場の失敗」について理解する。 ○経済活動の指標や，景気変動のしくみについて理解する。 ○物価変動が国民生活にどのような影響を与えるか考察する。	5. 市場経済と経済指標 ○日本における株式保有比率変化の理由について理解する。 ○市場は必ずしも万能ではないといわれる理由について考察する。 ○需要曲線と供給曲線による価格の決定について理解する。	【知識・技能】市場経済や株式会社のしくみについて理解する。 【思考・判断・表現】「市場の失敗」と政府の機能について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】物価変動が国民生活に及ぼす影響について話し合う。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
	○金融の役割や，金融政策の手段について理解する。 ○金融の自由化と，日本経済への影響について考察する。 ○財政の役割や持続可能な財政および租税のあり方について考察する。 ○日本経済の変遷と産業構造の変化について理解する。	6. 金融のしくみ，財政の役割 ○金利が生活に与える影響や信用創造のしくみについて理解する。 ○金融政策の変遷とその効果について，諸資料をもとに話し合う。 7. 戦後日本経済史 戦後日本経済史を学び，日本経済の抱える課題について考察する。	【知識・技能】金融，財政のしくみや政策，戦後日本経済史の基本的な流れを理解する。 【思考・判断・表現】財政，金融政策の課題について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】○持続可能な財政や租税のあり方について話し合う。	○	○	○	16
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	○貿易と国際収支の基本事項について理解する。 ○為替レートがどのような要因によって変動するか考察する。 ○国際通貨体制の変遷，地域経済統合やFTA・EPAが自由貿易の進展にどのような影響を与えるか考察する。	○円高・円安のメリット・デメリットについて理解する。 ○統計資料をもとに，日本の国際収支の特徴について考察する。 ○IMF・GATT体制や，地域経済統合について考察する。	【知識・技能】貿易や為替の基礎知識を身に付ける。 【思考・判断・表現】日本の国際収支の変化と戦後日本経済史について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】グローバル化の中で日本経済の課題について話し合う。	○	○	○	10
	全範囲の実践演習 ○全範囲の内容について理解を深める。 全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 ○問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 実践演習。個別指導等 ・教材 教科書・副教材（問題集）	【知識・技能】基礎知識を定着させる。 【思考・判断・表現】資料読解など思考問題に取り組む。 【主体的に学習に取り組む態度】苦手分野を見出し，積極的に取り組む。	○	○	○	8
							合計 78

高等学校 令和7年度（3学年用）

教科 数学

科目 数学Ⅲ

教科： 数学

科目： 数学Ⅲ

単位数： 4 単位

対象学年組： 第 1 学年 組～ 組

教科担当者： （1組：神田 ） （2組：高山 ） （34組：藤原 ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書： （ 高等学校数学Ⅲ ）

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

科目 数学Ⅲ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度。粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 微分法 【知識及び技能】 極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題演習や振り返りを通して自らを	・指導事項 1. 微分係数と導関数 2. 導関数の計算 3. いろいろな関数の導関数 4. 第 n 次導関数 5. 曲線の方程式と導関数 ・教材 高等学校数学Ⅲ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・微分法の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・微分法の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	15
	B 単元 微分法的应用 【知識及び技能】 導関数を、接線、関数の増減、グラフなどに活用できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 関数のグラフを方程式や不等式の考察に活用できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に導関数を活用しようとする姿勢を育てる。	・指導事項 1. 接線の方程式 2. 平均値の定理 3. 関数の値の変化 4. 関数のグラフ 5. 方程式、不等式への応用 6. 速度と加速度 7. 近似式 ・教材 高等学校数学Ⅲ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・微分の応用の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・微分の応用の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	C 単元 積分法とその応用 【知識及び技能】 様々な関数の不定積分やその計算法則を導関数をもとにして考え、それをもとに不定積分を求められるようにする。 様々な関数の定積分を求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 定積分を活用して、面積、体積、曲線の長さなどを求められるようにし、またそれらを通じて定積分の理解をさらに深める。 【学びに向かう力、人間性等】 定積分を面積として捉え、様々な事象の考察に活用できるようにする 定期考査	・指導事項 1. 不定積分とその基本性質 2. 置換積分法と部分積分法 3. いろいろな関数の不定積分 4. 定積分とその基本性質 5. 置換積分法と部分積分法 6. 定積分のいろいろな問題 7. 面積 8. 体積 9. 道のり 10. 曲線の長さ ・教材 高等学校数学Ⅲ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・積分法とその応用の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・積分法とその応用の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	29
				○	○		1

2 学 期	Ⅲ範囲の実践演習 【知識・技能】 数学Ⅲ全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】 数学Ⅲ全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。 定期考査	・教材 高等学校数学Ⅲ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠＡⅡＢＣ全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠＡⅡＢＣ全範囲の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	35
	Ⅲ範囲の実践演習 【知識・技能】 数学Ⅲ全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】 数学Ⅲ全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。 定期考査	・教材 高等学校数学Ⅲ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠＡⅡＢＣ全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠＡⅡＢＣ全範囲の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	33
	Ⅲ範囲の実践演習 【知識・技能】 数学Ⅲ全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】 数学Ⅲ全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・教材 高等学校数学Ⅲ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠＡⅡＢＣ全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠＡⅡＢＣ全範囲の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	26
3 学 期							
							合計 156

高等学校 令和7年度（3学年用）

数学

科目 数学C

教科： 数学

科目： 数学C

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 34 組

教科担当者：（123組：神田 ）（123組：高山 ）（123組：藤原 ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書： 高等学校 数学C 数研出版

教科 数学

の目標：

【知 識 及 び 技 能】数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

科目 数学C

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける	大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元 空間のベクトル 【知識及び技能】 平面上のベクトルの拡張として空間のベクトルを捉え、空間図形の性質の考察などに活用できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 座標空間における点や図形について考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題演習や振り返りを通して自らを定期考査	・指導事項 1. 空間の点 2. 空間のベクトル 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 5. ベクトルの図形への応用 6. 座標空間における図形 ・教材 高等学校 数学C 数研出版 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・空間ベクトルの内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・空間ベクトルの内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	10
				○	○		1
	B 単元 複素数平面 【知識及び技能】 複素数平面において複素数の演算がどのように表されるかを理解し、複素数の計算を図形を用いて考察 【思考力、判断力、表現力等】 図形の考察に複素数の計算を活用できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる	・指導事項 1. 複素数平面 2. 複素数の極形式 3. ド・モアブルの定理 4. 複素数と図形 ・教材 高等学校 数学C 数研出版 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・複素数平面の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・複素数平面の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	8
	C 単元 式と曲線 【知識及び技能】 曲線が媒介変数を用いて表される仕組みを理解し、様々な曲線の媒介変数表示について考察できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 極座標の仕組みについて理解し、図形を極方程式で表したり、極方程式が表す図形を求めたりできるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータを用いるなどして、様々な曲線についてその方程式や概	・指導事項 1. 放物線 2. 楕円 3. 双曲線 4. 2次曲線の平行移動 5. 2次曲線と直線 6. 2次曲線の性質 7. 曲線の媒介変数表示 8. 極座標と極方程式 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・式と曲線の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・式と曲線の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	6
				○	○		1
	定期考査			○	○		

2 学 期	I A II BC全範囲の実践演習 【知識・技能】 数学 I A II B C 全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】 数学 I A II B C 全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学 I A II B C 全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学 I A II B C 全範囲の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
	I A II BC全範囲の実践演習 【知識・技能】 数学 I A II B C 全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】 数学 I A II B C 全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学 I A II B C 全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学 I A II B C 全範囲の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
3 学 期	I A II BC全範囲の実践演習 【知識・技能】 数学 I A II B C 全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】 数学 I A II B C 全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学 I A II B C 全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学 I A II B C 全範囲の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	24
							合計
							78

高等学校 令和7年度(3学年)教科 数学 科目 理系数学演習

教科： 数学 科 目： 理系数学演習 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 3 学年 組～ 組

教科担当者： (島村) (組：) (組：) (組：)

使用教科書： (高等学校 数学B 数研出版)

教科 数学 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深める。
- 【思考力、判断力、表現力等】事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培う。
- 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

科目 理系数学演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学ⅠAⅡBⅢC各単元の考えについて、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学ⅠAⅡBⅢC各単元について、構成要素間の関係に着目し、簡潔・明瞭・的確に表現したり、論理的に考察したりする力、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 「Ⅰ式と証明」「Ⅴ場合の数・確率」「Ⅵ図形の性質」「Ⅶ図形と式」「Ⅷ三角・指数・対数関数」「Ⅹベクトル」「Ⅺ統計」 【知識及び技能】 ・公式を理解し、それらを用いることができる。 ・計算の方法について理解し、簡単な場合について計算ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができる。 ・論理的に考察し、証明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。	・指導事項 1 式の計算 2 恒等式・割り算の問題 3 方程式・不等式の解法 16 場合の数、順列 17 組合せ 18 確率 (1) 19 確率 (2) 20 図形の性質 (1) 21 図形の性質 (2) 22 点と直線 23 曲線と直線 24 軌跡 25 領域 26 図形と式の種々の問題 27 三角比と三角形 28 図形と計量 29 三角関数 (1) 30 三角関数 (2) 31 指数・対数の計算 32 指数・対数の種々の問題 46 ベクトルの基本 47 ベクトルと内積 48 ベクトルと平面図形 (1) 49 ベクトルと平面図形 (2) 50 ベクトルと空間図形 51 データの分析 52 統計的な推測 ・教材 教科書・副教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠAⅡBⅢC全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠAⅡBⅢC全範囲の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。				26
	定期考査			○	○	○	1
	B 単元 「Ⅱ関数と方程式・不等式」「Ⅲ式と証明、論理」「Ⅳ整数の性質」「Ⅸ微分法・積分法」「Ⅹ数列」 【知識及び技能】 ・公式を理解し、それらを用いることができる。 ・計算の方法について理解し、簡単な場合について計算ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができる。 ・論理的に考察し、証明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。	・指導事項 4 関数とグラフ 5 最大・最小 (1) 6 最大・最小 (2) 7 2次方程式の理論 8 種々の方程式の問題 9 不等式の種々の問題 10 式の値、二項定理 11 等式・不等式の証明 12 集合と論証 13 約数と倍数 14 不定方程式 15 整数の性質の種々の問題 33 導関数、接線 34 関数の増減・極値 35 最大・最小 (微分法) 36 方程式・不等式への応用 37 積分の計算 38 定積分で表された関数 39 面積 (1) 40 面積 (2) 41 等差数列・等比数列 42 種々の数列 43 漸化式と数列 44 数学的帰納法 45 数列の応用 ・教材 教科書・副教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠAⅡBⅢC全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠAⅡBⅢC全範囲の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	28

	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	全範囲の実践演習	・教材 教科書・副教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲の内容に関する知識を 活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析してい る。	○	○	○	29
	定期考査			○	○	○	1
	全範囲の実践演習	・教材 教科書・副教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲の内容に関する知識を 活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析してい る。	○	○	○	29
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	全範囲の実践演習	・教材 教科書・副教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲の内容に関する知識を 活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析してい る。	○	○	○	39
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							156

高等学校 令和7年度(3学年) 教科 数学 科目 文系数学演習

教科: 数学 科目: 文系数学演習 単位数: 4 単位

対象学年組: 第 3 学年 組～ 組

教科担当者: (大塚)

使用教科書: (高等学校 数学B 数研出版)

教科 数学 の目標:

- 【知識及び技能】数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深める。
- 【思考力、判断力、表現力等】事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培う。
- 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

科目 文系数学演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学ⅠAⅡBC各単元の考えについて、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学ⅠAⅡBC各単元について、構成要素間の関係に着目し、簡潔・明瞭・的確に表現したり、論理的に考察したりする力、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 「Ⅰ数と式」「Ⅱ関数と方程式・不等式」「Ⅲ式と証明、論理」「Ⅳ整数の性質」「Ⅴ場合の数・確率」「Ⅵ図形の性質」「Ⅶ図形と式」 【知識及び技能】 ・公式を理解し、それらを用いることができる。 ・計算の方法について理解し、簡単な場合について計算ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができる。 ・論理的に考察し、証明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。	・指導事項 1 式の計算 2 恒等式・割り算の問題 3 方程式・不等式の解法 4 関数とグラフ 5 最大・最小(1) 6 最大・最小(2) 7 2次方程式の理論 8 種々の方程式の問題 9 不等式の種々の問題 10 式の値、二項定理 11 等式・不等式の証明 12 集合と論証 13 約数と倍数 14 不定方程式 15 整数の性質の種々の問題 16 場合の数、順列 17 組合せ 18 確率 (1) 19 確率 (2) 20 図形の性質 (1) 21 図形の性質 (2) 22 点と直線 23 曲線と直線 24 軌跡 25 領域 26 図形と式の種々の問題 ・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
	B 単元 「Ⅷ三角・指数・対数関数」「Ⅸ微分法・積分法」「Ⅹ数列」「Ⅺベクトル」「Ⅻ統計」 【知識及び技能】 ・公式を理解し、それらを用いることができる。 ・計算の方法について理解し、簡単な場合について計算ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができる。 ・論理的に考察し、証明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。	・指導事項 27 三角比と三角形 28 図形と計量 29 三角関数(1) 30 三角関数(2) 31 指数・対数の計算 32 指数・対数の種々の問題 33 導関数、接線 34 関数の増減・極値 35 最大・最小(微分法) 36 方程式・不等式への応用 37 積分の計算 38 定積分で表された関数 39 面積(1) 40 面積(2) 41 等差数列・等比数列 42 種々の数列 43 漸化式と数列 44 数学的帰納法 45 数列の応用46 ベクトルの基本 47 ベクトルと内積 48 ベクトルと平面図形(1) 49 ベクトルと平面図形(2) 50 ベクトルと空間図形 51 データの分析 52 統計的な推測33 導関数、接線 ・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	27

	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	全範囲の実践演習	・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	29
	定期考査			○	○	○	1
	全範囲の実践演習	・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	29
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	全範囲の実践演習	・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。				39
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							156

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 理科 科目 物理

教科： 理科 科目： 物理 単位数： 5 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 4 組

教科担当者： （必選：山本）（自選：井澤）

使用教科書： （物理（数研出版））

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
	【学びに向かう力、人間性等】
	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1編 力と運動 第1章 平面内の運動 【知識及び技能】 速度や加速度のベクトルを用いた扱いを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 放物運動における速度ベクトルを水平・鉛直に分解し、定量的に理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 空気抵抗がはたらく場合や斜面への投射、平面との衝突などの場合について探究する。	指導項目・内容 1. 平面運動の速度・加速度 2. 落体の運動 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 ・小テスト 【思考力、判断力、表現力等】 実験プリント	○	○		6
	第2章 剛体 【知識及び技能】 力のモーメントについて理解している。剛体にはたらく力について、並進運動と回転運動を考えることができる。重心や偶力のモーメントを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 剛体にはたらく力のつりあいを理解し、力の関係について説明できる。剛体の傾く条件や滑り出す条件を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 棒のつりあいを調べる実験に主体的に取り組んでいる。厚紙でできた三角形の重心の位置を調べる実験や、直方体の転倒のしやすさを調べる実験に主体的に取り組んでいる。	指導項目・内容 1. 剛体にはたらく力のつりあい 2. 剛体にはたらく力の合力と重心 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 ・小テスト、実験・観察 【思考・判断・表現】 ・ワークシート、レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ポートフォリオ	○	○	○	11
	第3章 運動量の保存 【知識及び技能】 運動量と力積について、求め方を理解している。運動量の変化は、その間に物体が受けた力積に等しいことを理解している。記録タイマーを用いて、台車が直線上で衝突し合体するとき、衝突の前後で運動量保存則が成りたつことを検証できる。反発係数の式を用いて、衝突する物体の運動を調べることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 運動量の変化と力積の関係の式から、物体が受ける力積と平均の力の大きさについて説明することができる。運動量保存則が成りたつ条件を説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 台車が受ける力積と運動量の変化の間に成りたつ関係を調べる実験に主体的に取り組んでいる。反発係数を調べる実験に主体的に取り組んでいる。	指導項目・内容 1. 運動量と力積 2. 運動量保存則 3. 反発係数 教材 ・授業プリント	【知識・技能】 ・小テスト、実験・観察 【思考・判断・表現】 ・ワークシート、レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ポートフォリオ	○	○	○	17

1 学 期	第4章 円運動と万有引力 【知識及び技能】 等速円運動をしている物体の回転の速度、角速度、周期、回転数の諸量の定義が理解できている。遠心力が慣性力の一種であることを理解し、遠心力を含めたつりあいの式を立てることができる。単振り子の周期を表す式を導く過程を理解し、周期を求めることができる。ケプラーの法則、万有引力の法則を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 一定の半径で等速円運動する物体の速さと物体にはたらく向心力の大きさの間の関係を説明できる。慣性力とその他の力の違いについて理解し、説明できる。万有引力の式を用いて、異なる惑星の表面上での重力加速度の大きさを比較することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 慣性力がはたらく方向を調べる実験に主体的に取り組んでいる。ばね振り子や単振り子の周期を調べる実験に主体的に取り組んでいる。	指導項目・内容 1. 等速円運動 2. 慣性力 3. 単振動 4. 万有引力 教材 ・授業プリント	【知識・技能】 ・小テスト、実験・観察 【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ポートフォリオ	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
1 学 期	第2編 熱と気体 第1章 気体のエネルギーと状態変化 【知識及び技能】 ボイル・シャルルの法則を用いて、状態変化後の気体の圧力、体積、絶対温度を求めることができる。気体が熱運動して壁などの面に力を及ぼすことから圧力の大きさを表す式を導くことができる。気体の状態変化の、「定積変化」、「定圧変化」、「等温変化」、「断熱変化」を、それぞれp-V図や式で表すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 気体の圧力、体積、絶対温度の間の関係について理解している。定積モル比熱と定圧モル比熱の違いを正しく理解し、2つの間に成り立つ関係について説明できる。熱機関のしくみを説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 気体の圧力や体積、温度を変えると、これらの量の間にどのような関係が成り立っているかを理解しようとしている。気体が状態変化をするとき、エネルギーはどのようになるのかを理解しようとしている。	指導項目・内容 1. 気体の法則 2. 気体分子の運動 3. 気体の状態変化 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 ・小テスト、実験・観察 【思考・判断・表現】 ・ワークシート、レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ポートフォリオ	○	○	○	15

2 学 期	第3編 波 第1章 波の伝わり方 第2章 音の伝わり方 第3章 光 【知識及び技能】 波が伝わるようすを，グラフで表現することができる。位相のずれや進行方向の違いなども考慮して，正弦波の式を正しく表すことができる。音の干渉について，音が強めあう条件と弱めあう条件を理解している。光は進んでいくとき，反射，屈折，分散，散乱を行うこと，またその際にどのような法則が成り立っているのかを理解している。ヤングの実験，回折格子，薄膜，くさび形空気層，ニュートンリングのそれぞれの光の干渉条件を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 音源が特定の時間だけ音を出す場合のドップラー効果について，観測者が音を観測する時間を考えることができる。媒質の屈折率と光路長の関係を説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 音の干渉の実験に主体的に取り組んでいる。レンズや鏡に興味をもち，それによってどのような像ができるかについて理解しようとしている。・ヤングの実験や回折格子による光の干渉実験に主体的に取り組んでいる。	指導項目・内容 第1章 1. 波と媒質の運動 2. 正弦波の式 3. 波の伝わり方 第2章 1. 音の伝わり方 2. 音のドップラー効果 第3章 1. 光の性質 2. レンズと鏡 3. 光の干渉と回折 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 ・小テスト、実験・観察 【思考・判断・表現】 ・ワークシート、レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ポートフォリオ	○	○	○	33
	定期考査			○	○		1
2 学 期	第4編 電気と磁気 第1章 電場 【知識及び技能】 電気量保存の法則やクーロンの法則について理解し，関係式を正しく適用できる。電場や電気力線がどのようなものかを理解している。コンデンサーの基本公式を正しく適用できる。 【思考力・判断力・表現力等】 電気力線と等電位線の関係について説明できる。平行板コンデンサーに誘電体をはさむことによって電気容量が増える理由について説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 箔検電器やデジタルマルチメーター，アース線などの働きや役割を理解し，主体的に実験に取り組んでいる。身近なコンデンサーの利用例について興味・関心をもち，コンデンサーの性質などを理解しようとしている。	指導項目・内容 1. 静電気 2. 電場 3. 電位 4. 物質と電場 5. コンデンサー ・教材 授業プリント	【知識・技能】 ・小テスト、実験・観察 【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ポートフォリオ	○	○	○	23
	第4編 電気と磁気 第2章 電流 【知識及び技能】 オームの法則の意味をミクロの視点で理解している。キルヒホッフの法則を用いて回路内の電流や電圧降下を求めることができる。電池の起電力や内部抵抗の関係やホイートストンブリッジ，電位差計など未知の抵抗値や起電力を調べる方法を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 温度と抵抗率の関係について理解し，説明することができる。半導体のキャリアについて理解し，真性半導体と不純物半導体の性質の違いを判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 電流の流れ方は物質の種類やつなぎ方によってどのように異なるかということに興味をもっている。半導体が多く電子機器に利用されていることを知り，半導体に興味や関心をもつことができる。	指導項目・内容 1. オームの法則 2. 直流回路 3. 半導体 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 ・小テスト、実験・観察 【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ポートフォリオ	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1

3 学 期	第4編 電気 第3章 電流と磁場 【知識及び技能】 直線電流、円形電流、ソレノイドの電流がつくる磁場について理解している。平行電流が及ぼしあう力について、定量的・定性的に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 電流が磁場から受ける力の実験において、アルミパイプを目的の方向に動かせるように磁場、電流の向きを調整できる。フレミングの左手の法則を用いて、電流の流れている導線がどの向きに力を受けるかを判断することができる。ローレンツ力とは何かを説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 オーロラなどのローレンツ力の例に興味・関心を示し、ローレンツ力について理解しようとしている。	指導項目・内容 1. 磁場 2. 電流のつくる磁場 3. 電流が磁場から受ける力 4. ローレンツ力 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 ・小テスト、実験・観察 【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ポートフォリオ	○	○	○	12
	第4編 電気 第4章 電磁誘導と電磁波 【知識及び技能】 自己誘導や相互誘導などの関係式を適用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 コイルを回転させる速さと誘導起電力の大きさの関係を説明できる。抵抗、コイル、コンデンサーに流れる交流電流に対する位相差について説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 磁場を変化させると電流が生じることに興味・関心をもち、電磁誘導について理解しようとしている。相互誘導と変圧器との関係から自己誘導・相互誘導に学習する意欲・関心をもっている。	指導項目・内容 1. 電磁誘導の法則 2. 自己誘導と相互誘導 3. 交流の発生 4. 交流回路 5. 電磁波 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 ・小テスト、実験・観察 【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ポートフォリオ	○	○	○	20
	第5編 原子と光 第1章 電子と光 第2章 原子と原子核 【知識及び技能】 電子の比電荷、ミリカンの実験を踏まえた電気素量の導出について理解している。物質波について理解している。放射能と放射線の測定単位の定義を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 X線回折とX線のコンプトン効果について、波動性と粒子性を踏まえて説明できる。α線、β線、γ線の正体や、α崩壊、β崩壊のしくみを説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 光電効果の原理を踏まえて、考え、説明することができる。核エネルギーとは何か、どうしてあのような莫大な量のエネルギーが取り出せるのかに、興味・関心を示し、理解しようとしている。	指導項目・内容 第1章 1. 電子 2. 光の粒子性 3. X線 4. 粒子の波動性 第2章 原子と原子核 1. 原子の構造とエネルギー準位 2. 原子核 3. 放射線とその性質 4. 核反応と核エネルギー 5. 素粒子 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 ・小テスト、実験・観察 【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ポートフォリオ	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
				○	○		合計
						195	

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 理科 科目 化学			
教科：理科	科目：化学	単位数：5	単位
対象学年組：第 3 学年 1 組～ 3 組			
教科担当者：（ 1、2 必選組：酒井 ）（ 3、4 必選組：高田 ）（ 自選組：高田 ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）			
使用教科書：（ 高等学校 化学 啓林館 ）			
教科 理科	の目標：		
【知識及び技能】	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、現象などに関する技能を身に付けるようにする。		
【思考力、判断力、表現力等】	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。		
【学びに向かう力、人間性等】	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。		
科目 化学	の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	
・化学に関する事物・現象について、基本的な概念や、原理・法則を理解し、知識を身につけている。 ・観察、実験に関する技能を身につけている。	・化学的な事物・現象に問題を見出し、研究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	・化学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身につけている。 ・レポート等を様式や期日を守って提出できる。 ・授業や小テストなどに積極的に取り組むことができる。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	2－2 化学平衡 【知識及び技能】 ・化学平衡について、その概念、原理、法則を理解している。 ・化学平衡の移動の原理を理解している。 ・電離平衡について、酸・塩基と関連付けて、その原理を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・化学平衡について、その原理と法則を論理的に理解することができる。 ・平衡の移動について論理的に説明することができる。 ・電離平衡について、酸・塩基の概念と共に理解し、説明することができる。また、pHを計算することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にかかわる。 見通しをもって、科学的に考察する	・指導事項 ・可逆反応、不可逆反応、正反応、逆反応 ・平衡状態、反応速度 ・平衡定数 ・平衡定数と気体の分圧の関係 ・酸・塩基の電離定数 ・緩衝液・緩衝作用と滴定曲線 ・溶解度積 ・溶解平衡と共通イオン効果 ・教材 資料集他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・化学平衡について、その概念、原理、法則を理解している。 ・化学平衡の移動の原理を理解している。 ・電離平衡について、酸・塩基と関連付けて、その原理を理解して基礎的計算問題を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ・化学平衡について、その原理と法則を論理的に理解することができる。 ・平衡の移動について論理的に説明することができる。 ・電離平衡について、酸・塩基の概念と共に理解し、説明することができる。関連計算問題を解くことができる。また、pHを計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にかかわる。 見通しをもって、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	19
	1－2 非金属元素 【知識及び技能】 ・非金属元素の反応から酸塩基反応や酸化還元反応への理解を深め、科学的な探究に必要な実験に関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・実験を通して探究し、非金属元素の反応における酸塩基反応や酸化還元反応の扱われ方について見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にかかわる。 見通しをもって、科学的に考察する。	・指導事項 水素の単体の製法・性質、非金属元素の水素化合物、貴ガス、酸素の製法、オキソ酸、塩素、臭素、ヨウ素の単体の製法・性質、ハロゲン化水素、硫酸の単体、硫化水素、二酸化硫黄の製法・性質、濃硫酸と希硫酸の性質・ アンモニアの製法、ハーバー・ボッシュ法、硝酸の製法、黄リンと赤リン、炭素の単体、一酸化炭素、二酸化炭素の製法・性質、二酸化ケイ素、ケイ酸ナトリウムの性質	【知識・技能】 ・非金属元素の反応から酸塩基反応や酸化還元反応への理解を深め、科学的な探究に必要な実験に関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・実験を通して探究し、非金属元素の反応における酸塩基反応や酸化還元反応の扱われ方について見いだして表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にかかわる。 見通しをもって、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	2－1 典型金属元素 【知識及び技能】 ・金属元素の反応から酸塩基反応や酸化還元反応への理解を深め、科学的な探究に必要な実験に関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・実験を通して探究し、金属元素の反応における酸塩基反応や酸化還元反応の扱われ方について見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にかかわる。 見通しをもって、科学的に考察する。	・指導事項 アルカリ金属の単体、製法、性質、水酸化ナトリウムの製法、炭酸ナトリウムの性質、アンモニアソーダ法（ソルベー法）、アルカリ土類金属の単体、酸化カルシウム、水酸化カルシウム、炭酸カルシウム、塩化カルシウム、硫酸カルシウム、硫酸バリウムの性質・アルミニウムの単体の製法・性質・用途、酸化アルミニウム、水酸化アルミニウムの性質、アルミニウムイオンの酸、塩基との反応、Pb2+を含む水溶液と様々な水溶液との沈殿反応、合金、亜鉛両性金属、亜鉛イオンの酸、塩基との反応 ・教材 資料集他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・金属元素の反応から酸塩基反応や酸化還元反応への理解を深め、科学的な探究に必要な実験に関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・実験を通して探究し、金属元素の反応における酸塩基反応や酸化還元反応の扱われ方について見いだして表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にかかわる。 見通しをもって、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	20

2－3 遷移元素 【知識及び技能】 ・遷移元素の反応から酸塩基反応や酸化還元反応への理解を深め、科学的な探究に必要な実験に関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・実験を通して探究し、遷移元素の反応における酸塩基反応や酸化還元反応の扱われ方について見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にかかわる。 見通しをもって、科学的に考察する。	・指導事項 遷移元素の特徴、錯イオン、酸化鉄、鉄（Ⅱ）化合物、鉄（Ⅲ）化合物、鉄イオンの反応、銅（Ⅱ）イオン、銀イオン、クロム酸イオン、ニクロム酸イオン、マンガニンイオン、レアメタル、系統分離 ・教材 資料集他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・遷移元素の反応から酸塩基反応や酸化還元反応への理解を深め、科学的な探究に必要な実験に関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・実験を通して探究し、遷移元素の反応における酸塩基反応や酸化還元反応の扱われ方について見いだして表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にかかわる。 見通しをもって、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
3－1 有機化合物の特徴と分類・脂肪族炭化水素 【知識及び技能】 ・有機化合物の特徴と分類や有機化合物の構造決定の方法を理解している。 ・炭化水素の構造や反応性、それぞれの関係について理解し、知識として身につけている。 ・異性体について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・有機化合物の特徴を理解し、分類することができる。 ・有機化合物の構造決定の手順を理解し、実際に未知の化合物の構造を決定することができる。 ・アルカン、アルケン、アルキンのそれぞれの性質が構造に関連していることを理解し、異性体についても論理的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にかかわる。 見通しをもって、科学的に考察する。	・炭化水素の分類・官能基・異性体 ・元素分析 ・アルカンC_nH_{2n+2}・アルカンの構造異性体 ・アルケンC_nH_{2n}・シス・トランス異性体 ・アルケンの二重結合への付加反応、酸化反応、付加重合 ・アルキンC_nH_{2n-2} ・教材 資料集他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・有機化合物の特徴と分類や有機化合物の構造決定の方法を理解している。 ・炭化水素の構造や反応性、それぞれの関係について理解し、知識として身につけている。 ・異性体について理解している。 【思考・判断・表現】 ・有機化合物の構造決定の手順を理解し、実際に未知の化合物の構造を決定することができる。 ・アルカン、アルケン、アルキンのそれぞれの性質が構造に関連していることを理解し、異性体についても論理的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にかかわる。 見通しをもって、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	25
3－2 酸素を含む脂肪族化合物 【知識及び技能】 ・酸素を含む脂肪族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解している。また、実験によって確かめられる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・酸素を含む脂肪族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にかかわる。 見通しをもって、科学的に考察する。	・アルコールの構造と分類方法 ・アルコールの沸点・融点、水溶性、金属ナトリウムとの反応性 ・第一級アルコール、第二級アルコール、第三級アルコールの酸化・エーテルの性質・アルデヒドの酸化還元反応・ケトンの製法・ヨードホルム反応・カルボン酸・エステル・けん化 ・せっけん・ミセル ・教材 資料集他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・酸素を含む脂肪族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解している。また、実験によって確かめられる。 【思考・判断・表現】 ・酸素を含む脂肪族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にかかわる。 見通しをもって、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	20

2 学 期	定期考査				○	○		1
	3－3 芳香族化合物 【知識及び技能】 ・芳香族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解している。また、実験によって確かめられる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・芳香族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にかかわる。 見通しをもって、科学的に考察する。	・ベンゼンの構造・芳香族化合物、オルト・メタ・パラの構造異性体・ベンゼンの芳香族置換反応・フェノール類の性質・フェノールの製法、クメン法 ・芳香族カルボン酸・サリチル酸 ・アニリンの合成方法・ジアゾカップリング ・芳香族化合物の混合物から各化合物を分離 ・油脂の構造 ・教材 資料集他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・芳香族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解している。また、実験によって確かめられる。 【思考・判断・表現】 ・芳香族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にかかわる。 見通しをもって、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。					
	3－4 高分子化合物・天然高分子化合物 【知識及び技能】 ・高分子化合物の分類と特徴について理解している。 ・天然高分子化合物の性質と反応に関する概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・高分子化合物の特徴を理解し、分類することができる。 ・天然高分子化合物について、代表的な物質の構造とその性質、存在例を理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にかかわる。 見通しをもって、科学的に考察する。	・単量体、重合体・平均分子量・グルコース、スクロース、マルトース・単糖類の分子式、分類と性質・銀鏡反応、フェーリング液の還元反応・フルクトースの水溶液やガラクトースの構造 ・二糖類・マルトース、スクロースの構造 ・デンプンの特徴と構造・セルロースの加水分解 ・ニトロセルロース・再生繊維と半合成繊維 ・α-アミノ酸・アミノ酸の電気泳動・アミノ酸の電離平衡・ペプチド結合・アミノ酸の反応 ・タンパク質の一次構造、二次構造、三次構造、四次構造・タンパク質の塩析、変性・ビウレット反応、キサントプロテイン反応、硫黄の検出反応、窒素の検出反応・酵素 ・核酸の構成、DNAの構造と塩基の相補性 ・教材 資料集他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・天然高分子化合物の性質と反応に関する概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・天然高分子化合物について、代表的な物質の構造とその性質、存在例を理解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にかかわる。 見通しをもって、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○		35
定期考査					○	○		1
3 学 期	3－5 合成高分子化合物 【知識及び技能】 ・合成高分子化合物の性質と反応に関する概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・合成高分子化合物について、代表的な物質の構造とその性質、利用例を理解することができる。また、単量体から高分子化合物の構造式を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にかかわる。 見通しをもって、科学的に考察する。	・ナイロン66、ナイロン6の構造・ポリエチレンテレフタラートの構造・ビニロンの製法 ・熱可塑性樹脂の特徴・熱硬化性樹脂の特徴 ・フェノール樹脂の製法・イオン交換樹脂・天然ゴム（生ゴム）の特徴・合成ゴムの製法 ・陽イオン交換樹脂、陰イオン交換樹脂の特徴 ・教材 資料集他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・合成高分子化合物の性質と反応に関する概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・合成高分子化合物について、代表的な物質の構造とその性質、利用例を理解することができる。また、単量体から高分子化合物の構造式を書くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にかかわる。 見通しをもって、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。					
					○	○	○	45
							合計	199

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 理科 科目 生物

教 科： 理科 科 目： 生物 単位数： 6 単位

対象学年組：第 3 学年 組～ 組

教科担当者：（ 川上 温故 ）

使用教科書：（ 啓林館 生物 ）

教科 理科

【知 識 及 び 技 能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

の目標：

自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、思考力、判断力、表現力等を働かせながら、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	生物の進化 【知識・技能】 生命の起源と地球環境の変遷、生物の遺伝的多様性が生じるしくみを理解する。 【思考・判断・表現】 生命の起源を地球環境の変遷と関連付けて考える。様々なしくみによって生じる、生物の遺伝子の組み合わせの変化を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 1 生命の起源 2 生物の変遷と地球環境の変化 3 有性生殖 4 遺伝子の多様な組み合わせ 5 突然変異と進化 6 進化の要因 7 生物の分類と系統 8 3ドメイン説 9 人類の起源と進化 ・教材 教科書、問題集、実験器具、各種生物試料、PC等	【知識・技能】 ・生命の起源と変遷、地球環境の変化がわかる。 ・減数分裂と受精の意義、遺伝の規則性がわかる。 ・生物の変異と進化、自然選択のしくみがわかる。 ・生物の分類と系統、生物の分類ごとの特徴がわかる。 【思考・判断・表現】 ・化学進化や生命の起源を考えることができる。 ・生物の進化を、関係する地球環境の変化と関連させて考えることができる。 ・減数分裂と受精により生じる遺伝子の組み合わせを考えることができる。 ・遺伝子の連鎖と組換えにより生じる遺伝子の組み合わせの変化を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業に能動的に参加している。 ・学習方法や実験観察方法を工夫している。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	29
	定期考査			○	○		1
	生命現象と物質 【知識・技能】 生物の基本単位である細胞の構造と働きを学び、生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。 【思考・判断・表現】 生命を構成する物質の機能や特性、および呼吸や光合成のしくみについて考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 10 物質と細胞 11 生命現象とタンパク質 12 代謝とエネルギー 13 呼吸 14 光合成 ・教材 教科書、問題集、実験器具、各種生物試料、PC等	【知識・技能】 ・細胞の構造と細胞小器官の特徴、タンパク質の構造や生命現象における役割がわかる。 ・エネルギーの出入りとATPの分解・合成の関係がわかる。 ・呼吸と発酵、光合成のしくみがわかる。 【思考・判断・表現】 ・生体膜機能や酵素の作用について考えることができる。 ・解糖系やクエン酸回路、電子伝達系について考えることができる。 ・光化学系Ⅱ・Ⅰにおける反応、カルビン回路について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業に能動的に参加している。 ・学習方法や実験観察方法を工夫している。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	25
	遺伝情報の発現と発生 【知識・技能】 遺伝情報の複製や発現のしくみ、遺伝子を扱った技術の原理を理解する。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の複製や発現のしくみとそれらを利用した技術について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 15 遺伝情報の複製 16 遺伝子の発現 17 遺伝子の発現調節 18 遺伝子を扱った技術 ・教材 教科書、問題集、実験器具、各種生物試料、PC等	【知識・技能】 ・遺伝情報の複製のしくみがわかる。 ・原核生物と真核生物の遺伝子発現調節の違いがわかる。 ・バイオテクノロジーの基本的な原理がわかる。 【思考・判断・表現】 ・DNAの複製や遺伝子発現のしくみ、遺伝情報の変化について考えることができる。 ・原核生物と真核生物の遺伝子発現調節について考えることができる。 ・遺伝子を扱った技術の活用について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業に能動的に参加している。 ・学習方法や実験観察方法を工夫している。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1

2 学 期	遺伝情報の発現と発生 【知識・技能】 動物の配偶子形成と受精、初期発生と形態形成の過程を理解する。 【思考・判断・表現】 動物の配偶子形成と受精、初期発生と形態形成のしくみについて考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 19 動物の配偶子形成と受精 20 初期発生の過程 21 発生と遺伝子の発現 ・教材 教科書、問題集、実験器具、各種生物試料、PC等	【知識・技能】 ・動物の配偶子形成と受精のしくみがわかる。 ・初期発生の過程がわかる。 ・動物の細胞の分化と形態形成がわかる。 【思考・判断・表現】 ・配偶子形成と受精の過程について考えることができる。 ・卵割から器官分化の始まりまでの過程について考えることができる。 ・細胞の分化と形態形成のしくみを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業に能動的に参加している。 ・学習方法や実験観察方法を工夫している。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	20
	生物の環境応答 【知識・技能】 動物が刺激を受容し、神経系による処理を経て効果器を機能させるしくみを理解する。動物の行動の種類としくみを理解する。被子植物の生殖と発生、器官形成の過程を理解する。 【思考・判断・表現】 動物が刺激を受容し、神経系による処理を経て効果器を機能させるしくみについて考える。動物の行動の種類としくみについて考える。被子植物の生殖と発生、器官形成の過程について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 22 刺激の受容 23 神経 24 神経系 25 効果器 26 生得的行動 27 学習 28 植物の生殖と発生 29 発芽と成長 ・教材 教科書、問題集、実験器具、各種生物試料、PC等	【知識・技能】 ・各種の受容器の構造とはたらきがわかる。 ・神経の伝導と伝達のしくみがわかる。 ・筋収縮の詳細なくみがわかる。 ・動物の生得的行動と学習行動がわかる。 ・被子植物の重複受精がわかる。 ・植物の光受容体と植物ホルモンの機能がわかる。 【思考・判断・表現】 ・眼や耳のはたらきを考えることができる。 ・情報の伝導・伝達を考えることができる。 ・筋肉の働きを考えることができる。 ・動物個体の生得的な行動と、学習について考えることができる。 ・被子植物の配偶子形成と受精、栄養器官と生殖器官の形成過程について考えることができる。 ・植物の光受容体及び植物ホルモンの機能を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業に能動的に参加している。 ・学習方法や実験観察方法を工夫している。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	20
	生態と環境 【知識・技能】 生態系における生物の個体群の特徴や生物間の関係を理解する。生態系における物質の生産や循環の過程を理解する。 【思考・判断・表現】 生態系における生物の個体群の変動について考える。生態系における物質の生産や循環の過程について考える。生態系に影響を及ぼすさまざまな要因について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 30 個体群とその変動 31 種内関係 32 種間関係 33 生態系と物質生産 34 生態系と人間生活 ・教材 教科書、問題集、実験器具、各種生物試料、PC等	【知識・技能】 ・個体群とその変動がわかる。 ・種内関係および種間関係がわかる。 ・生態系と物質生産、および物質循環がわかる。 ・生態系と生物多様性がわかる。 【思考・判断・表現】 ・個体群の分布、成長曲線、密度効果について考えることができる。 ・個体群の特徴に種内関係が反映されることや、被食者―捕食者相互関係、共生、寄生などの異種個体群間の相互関係を考えることができる。 ・生態系における物質生産の特徴や、物質循環と生物の関わりについて考えることができる。 ・生物多様性や個体群の変動に影響を与える要因について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実験観察方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
	生物・全範囲の実践演習 【知識・技能】 生物の全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】 生物の全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・教材 共通テスト過去問題 教科書、資料集、問題集、PC等	【知識・技能】 ・生物の全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・生物の全範囲の内容に関する各種データや知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	29
	定期考査			○	○		1
3 学 期	生物・全範囲の実践演習 【知識・技能】 生物の全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】 生物の全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・個別指導 ・教材 共通テスト過去問題、個別試験過去問題、教科書、資料集、問題集、PC等	【知識・技能】 ・生物の全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・生物の全範囲の内容に関する各種データや知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。				60
							合計 234

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 1組～8組

教科担当者：（1・2組：谷口・羽場・川上・梶田）（3・4組：谷口・羽場・宮崎・川上）（5・6組：谷口・羽場・川上・梶田）（7・8組：谷口・羽場・宮崎・梶田）

使用教科書：（大修館書店 新高等保健体育）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動特性に応じた技能や安全についての知識及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康について、自他の課題を発見し、課題解決に向け、合理的、計画的に思考・判断する力を身につけるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各種の運動の合理的・計画的な実践を通して、運動技能を高め、体力の向上と健康の保持増進の必要性について理解し、それらの技能を身につけられるようにする。	各種の運動における自他の課題を発見し、合理的、計画的な実践を通して、課題解決に向けて思考・判断する力及び自分の考えたことを他者に伝える力を身につけられるようにする。	運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身につけられるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	体づくり運動(1単位) 【知識及び技能】 体の構造や運動の原則を理解するとともに、運動の特性に応じた動きを身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 運動を通して、自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて、取り組み方を工夫したり、考えを仲間に伝えることができる力を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に自主的・主体的に取り組むとともに、健康や安全を確保しようとする力を身につけさせる。	・新体力テストを実施し、現在の体力を把握し、今年度の授業の目標を立てるようにする。 ・一人での運動、複数人での運動を通して、体の構造や効果的な運動の仕方を学び、仲間と強調して運動することの楽しさが実感できるよう指導する。 ・各競技の動きと関連付けた運動を実施することで、これからの授業へのつながりが意識できるよう指導する。 ・運動に応じて、タブレット端末を使用し、自己や仲間の動きを客観的にみる場を設定する。	【知識・技能】 体づくり運動についての行い方や実生活への取り入れ方について理解し、基本的な運動の技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 体力の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための計画を立てるとともに、自己や仲間の課題に応じて、運動の取り組み方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動に自主的・主体的に取り組むとともに、健康や安全を確保しながら、体を動かす楽しさや心地よさを深く味わうことができる。	○	○	○	18
	サッカー(2単位) 【知識及び技能】 役割に応じた基本的な動作や仲間と積極的に関わり、ゴール前の攻防における連携した動きを身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて、練習や作戦を工夫し、自己の考えたことを他者に伝える力を身につけられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にすること、仲間と協力して互いに高め合おうとする力を身につけられるようにする。	・サッカーの基本動作である動きや基本的なパス、ドリブル、シュートを習得し、攻防を楽しむゲームが成立するよう指導する。 ・チームごとでの対話を通し、練習やゲームを行うことで、課題に応じた思考判断や協調性を養えるよう指導する。 ・授業ごとにPDCAサイクルをチーム単位で行うことで常に思考判断の場を設定できるようにする。	【知識・技能】 ゴール前への侵入から攻防を展開するための安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間、チームの課題を発見し、効果的な練習や作戦を選び、仲間に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 サッカーの学習に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしたり、仲間と協力して、互いに高め合おうとしている。	○	○	○	
	ソフトボール(2単位) 【知識及び技能】 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備によって攻防ができるよう基本的な技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて、練習や作戦を工夫し、自己の考えたことを他者に伝える力を身につけられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にすること、仲間と協力して互いに高め合おうとする力を身につけられるようにする。	・ソフトボールの基本動作である送球や捕球、バット操作が身につけられるようにスモールステップでそれぞれの技能を指導する。 ・チームごとでの対話を通し、練習やゲームを行うことで、課題に応じた思考判断や協調性を養えるよう指導する。 ・授業ごとにPDCAサイクルをチーム単位で行うことで常に思考判断の場を設定できるようにする。	【知識・技能】 安定したバット操作と走塁での香華w気、ボール操作と連携した守備によって攻防を行うことができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、効果的な練習や作戦を選び、仲間に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ソフトボールの学習に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしたり、仲間と協力して、互いに高め合おうとしている。	○	○	○	
1・2 学期	バスケットボール(2単位) 【知識及び技能】 役割に応じた基本的な動作や仲間と積極的に関わり、ゴール前の攻防における連携した動きを身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて、練習や作戦を工夫し、自己の考えたことを他者に伝える力を身につけられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にすること、仲間と協力して互いに高め合おうとする力を身につけられるようにする。	・バスケットボールの基本動作である動きや基本的なパス、ドリブル、シュートを習得し、攻防を楽しむゲームが成立するよう指導する。 ・チームごとでの対話を通し、練習やゲームを行うことで、課題に応じた思考判断や協調性を養えるよう指導する。 ・授業ごとにPDCAサイクルをチーム単位で行うことで常に思考判断の場を設定できるようにする。	【知識・技能】 ゴール前への侵入から攻防を展開するための安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間、チームの課題を発見し、効果的な練習や作戦を選び、仲間に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 バスケットボールの学習に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしたり、仲間と協力して、互いに高め合おうとしている。	○	○	○	50

	バレーボール(2単位) 【知識及び技能】 役割に応じた基本的な動作や仲間と積極的に関わり、ネット際の攻防における連携した動きを身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて、練習や作戦を工夫し、自己の考えたことを他者に伝える力を身につけられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にすること、仲間と協力して互いに高め合おうとする力を身につけられるようにする。	バレーボールの基本動作である動きや基本的なパス、レシーブを習得し、攻防を楽しむゲームが成立するよう指導する。 ・チームごとでの対話を通して、練習やゲームを行うことで、課題に応じた思考判断や協調性を養えるよう指導する。 ・授業ごとにPDCAサイクルをチーム単位で行うことで常に思考判断の場を設定できるようにする。	【知識・技能】 攻防を展開するための安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間、チームの課題を発見し、効果的な練習や作戦を選び、仲間に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 バレーボールの学習に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしたり、仲間と協力して、互いに高め合おうとしている。	○	○	○
	テニス(2単位) 【知識及び技能】 テニスの基本的な動作や用具の安定した操作を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて、練習や作戦を工夫し、自己の考えたことを他者に伝える力を身につけられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にすること、仲間と協力して互いに高め合おうとする力を身につけられるようにする。	・テニスの基本的な動きやラケットの基本動作を習得し、ラリーや攻防を楽しむゲームが成立するよう指導する。 ・ペアによる話し合いを通して、練習やゲームを行い、課題に応じた思考判断や協調性を養えるよう指導する。 ・状況に応じて、タブレット端末を使用し、自己や仲間の動きを客観的にみる場を設定する。	【知識・技能】 攻防を展開するための安定したボール・ラケット操作と空間を作り出すなどの動きができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、効果的な練習や作戦を選び、仲間に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 テニスの学習に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしたり、仲間と協力して、互いに高め合おうとしている。	○	○	○
1 学期	水泳(1単位) 【知識及び技能】 各泳法について、手と足の動きに呼吸を合わせながら、続けて長く、速く効率的に泳ぐことができるよう指導する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の能力に適した課題解決の仕方や記録への挑戦の仕方を工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的・主体的に取り組むとともに、水泳の心へを守りう安全に気を配ることができるようにする。	・各泳法について、フォームやそれぞれに合ったベースなどを習得し、記録に挑戦することの楽しさが実感できるように指導する。 ・バディとの対話を通して、自他の課題を把握し、練習を工夫するなどの思考判断の場を設定して、指導に当たる。 ・状況に応じて、タブレット端末を活用し、自身の動きを客観的に認識することができるような場を設定する。	【知識・技能】 各泳法について、手と足の動きに呼吸を合わせながら、続けて長く、速く、効率よく泳ぐことができる。 【思考・判断・表現】 自他の課題を発見し、効果的な練習や課題解決の方法を選び、実践することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 水泳の学習に自主的・主体的に取り組むとともに、健康や安全に気を配りながら学習することができる。	○	○	○
	アルティメット(1単位) 【知識及び技能】 安定したディスク操作により味方が操作しやすいパスを送ったり、ゴール枠内にコントロールしてパスを通すことによりゴール前へ侵入し攻防を展開する。 【思考力、判断力、表現力等】 練習や攻防などを通じて自己やチームの課題を発見し、他者と共有することで自他の考えを更新し応用できるようにする。それらを文章等で表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組み、作戦などの話し合いに積極的に参加するとともに、フェアにプレーし、仲間と教え合い協同的な学びに取り組むようにする。	・アルティメットの基本動作である動きや基本的なスロー、キャッチ、ピボットなどの攻撃の技術を習得させるとともに、それらを使って仲間と連携した攻防がゲームで発揮できるよう指導する。 ・仲間との対話やチームでの話し合いを通して、個の課題やチームとしての改善点を見出し、合理的な解決の方法を考えるときにも、それらを他者に分かりやすく伝えられるように指導する。 ・フェアにプレーし連帯感や友情を高めたり、相手の気持ちに配慮しながら意見を述べたり、体力や技能の差などに配慮した取り組みを行えるよう、生涯にわたって運動に親しむことができる態度を育成する。	【知識・技能】 ディスクの基本的な操作（フォアハンドスロー、バックハンドスローやキャッチスキル）を使って、ゲームにおいてそれらのスキルを効果的に発揮できる。 【思考・判断・表現】 自他の課題を発見し、仲間と共有するとともに、課題に対して改善策を考え、他者に分かりやすく伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動に自主的に取り組むことを前提とし、他者への関わりを積極的に行い、体力や技術の差に配慮して安全に行動することができる。	○	○	○
2 学期	バドミントン(1単位) 【知識及び技能】 役割に応じた基本的な動作、用具の操作や仲間と積極的に関わり、ネット際の攻防における連携した動きを身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて、練習や作戦を工夫し、自己の考えたことを他者に伝える力を身につけられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にすること、仲間と協力して互いに高め合おうとする力を身につけられるようにする。	・バドミントンの基本的な動きやラケットの基本動作を習得し、ラリーや攻防を楽しむゲームが成立するよう指導する。 ・ペアによる話し合いを通して、練習やゲームを行い、課題に応じた思考判断や協調性を養えるよう指導する。 ・状況に応じて、タブレット端末を使用し、自己や仲間の動きを客観的にみる場を設定する。	【知識・技能】 攻防を展開するための安定したシャトル・ラケット操作と空間を作り出すなどの動きができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、効果的な練習や作戦を選び、仲間に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 バドミントンの学習に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしたり、仲間と協力して、互いに高め合おうとしている。	○	○	○
						合計

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅢ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅢ 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： （1組：渡邊 ） （2組：山下 ） （3組：横瀬 ） （4組：問谷 ） （5組：問谷 ） （6組：渡邊 ）
（7組：山下 ） （8組：渡邊 ）

使用教科書： （Heartening Ⅲ（桐原書店））

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、活用できる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】外国語で情報や考えの概要や要点、詳細、意図を的確に理解し、それをもとに自らの考えを形成し、適切に表現できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。

科目 英語コミュニケーションⅢ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書					
1 学 期	Les 1 What Makes Up Your Identity アイデンティティについて扱い、個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養う。 Les 2 Predicting Future Technology 未来予想について扱い、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。 Les 3 The Science of Sleep 睡眠について扱い、豊かな情操を培うとともに、健やかな身体を養うことにつなげる。	Les 1：女優のサヘル・ローズさんが、自らのアイデンティティと向き合った経験について読む。 Les 2：発明家のニコラ・テスラが、100 年前に予測した科学技術について読む。 Les 3：睡眠と記憶の関係性について読む。 Cutting Edge Blue Unit 1「教育と疾病」 Unit 2「最後のメッセージ」 Unit 3「目の大きさと脳の関係」 Unit 4「液体燃料」 Unit 7「動物の社会的距離」 (Unit 5, Unit 6)	○	○	○	○	○	単元 【知識及び技能】 Reading Strategy・語彙・文法などの理解を基に、ある女優が自身のアイデンティティと向き合った経験について、文章の展開に注意しながら読み取る技能を身に付けている。Reading Strategy・語彙・文法などの理解を基に、ある発明家が100年前に予測した科学技術について、文章の展開に注意しながら読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 記録文を読んで、ある女優が自身のアイデンティティと向き合った経験について、文章の展開に注意しながら理解している。説明文を読んで、ある発明家が100年前に予測した科学技術について、文章の展開に注意しながら理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 記録文を読んで、ある女優が自身のアイデンティティと向き合った経験について、文章の展開に注意しながら理解しようとしている。説明文を読んで、ある発明家が100年前に予測した科学技術について、文章の展開に注意しながら理解しようとしている。	○	○	○	27
	定期考査								○	○		1
	Les 4 Diversity and Inclusion 多様性について扱い、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。 Les 5 Protein Crisis 将来のタンパク源について扱い、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。 Les 6 Different Types of Happiness 幸福論について扱い、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度などを養う。	Les 4：文化的な多様性を促進するために重要なことについて読む。 Les 5：タンパク質の供給不足の問題と、それを補うための代替タンパク質について読む。 Les 6：コスタリカ・デンマーク・シンガポールに住む3人にとっての幸せの価値観について読む。 Cutting Edge Blue Unit 8「消費者心理」 Unit 9「社会的距離」 Unit 12「AIと仕事」 Unit 13「行動の背景」 Unit 14「災害と温暖化」 (Unit 10, Unit 11)	○	○	○	○	○	単元 【知識及び技能】 Reading Strategy・語彙・文法などの理解を基に、文化的な多様性を促進するために重要なことについて、文章の展開に注意しながら読み取る技能を身に付けている。Reading Strategy・語彙・文法などの理解を基に、タンパク質の供給不足の問題と代替タンパク質について、文章の展開に注意しながら読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 コラムニストが書いた意見文を読んで、文化的な多様性を促進するために重要なことについて、文章の展開に注意しながら理解している。説明文を読んで、タンパク質の供給不足の問題と代替タンパク質について、文章の展開に注意しながら理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 コラムニストが書いた意見文を読んで、文化的な多様性を促進するために重要なことについて、文章の展開に注意しながら理解しようとしている。説明文を読んで、タンパク質の供給不足の問題と代替タンパク質について、文章の展開に注意しながら理解しようとしている。	○	○	○	27
	定期考査								○	○		1

2 学 期	Les 7 Pros and Cons of Utilizing AI AIについて扱い、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。 Les 8 Kintsugi: The Art of Embracing the Imperfect 伝統工芸品について扱い、文化を尊重し、それを育んできた環境を大切にする態度を養う。	Les 7: AI を活用したデータ分析の事例と、AI を活用する際の倫理的な問題について読む。 Les 8: 金継ぎの特長や金継ぎから学べる人生の教訓について読む。 Cutting Edge Blue Unit 17 「ハビタブルゾーン」 Unit 18 「確証バイアス」 (Unit 15, Unit 16) Cutting Edge Orange Ch. 1 「絶滅種とDNA」 Ch. 3 「ああ、私のクッキーが」 Ch. 4 「言語の変化」	○	○	○	○	○	単元 【知識及び技能】 Reading Strategy・語彙・文法などの理解を基に、AIを活用したデータ分析の事例と倫理的な問題について、文章の展開に注意しながら読み取る技能を身に付けている。 Reading Strategy・語彙・文法などの理解を基に、金継ぎの特長やそこから学べる人生の教訓について、文章の展開に注意しながら読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 説明文を読んで、AIを活用したデータ分析の事例と倫理的な問題について、文章の展開に注意しながら理解している。2つの説明文を読んで、金継ぎの特長やそこから学べる人生の教訓について、文章の展開に注意しながら理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 説明文を読んで、AIを活用したデータ分析の事例と倫理的な問題について、文章の展開に注意しながら理解しようとしている。2つの説明文を読んで、金継ぎの特長やそこから学べる人生の教訓について、文章の展開に注意しながら理解しようとしている。	○	○	○	29
	定期考査								○	○		1
	Les 9 Getting Your Message Across 人前での話し方について扱い、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う。 Les 10 Medical Ethics During a Pandemic 医療倫理について扱い、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。	Les 9: 人前で話す際の言いよどみについて肯定的な意見を読む。 Les 10: 医師のエドワード・ジェンナーが天然痘ワクチンを開発した際の医療倫理について読む。 Cutting Edge Orange Ch. 5 「視覚」 Ch. 8 「検索エンジンと記憶」 Ch. 13 「17世紀のSNS」 Ch. 14 「米国の格差」 Ch. 16 「誤信のメカニズム」 (Ch. 2, Ch. 6)	○	○	○	○	○	単元 【知識及び技能】 Reading Strategy・語彙・文法などの理解を基に、人前で話す際の言いよどみに対する肯定的な意見について、文章の展開に注意しながら読み取る技能を身に付けている。 Reading Strategy・語彙・文法などの理解を基に、医師のエドワード・ジェンナーが天然痘ワクチンを開発した際の医療倫理について、文章の展開に注意しながら読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 論証文を読んで、人前で話す際の言いよどみに対する肯定的な意見について、文章の展開に注意しながら理解している。記録文と説明文を読んで、医師のエドワード・ジェンナーが天然痘ワクチンを開発した際の医療倫理について、文章の展開に注意しながら理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 論証文を読んで、人前で話す際の言いよどみに対する肯定的な意見について、文章の展開に注意しながら理解しようとしている。記録文と説明文を読んで、医師のエドワード・ジェンナーが天然痘ワクチンを開発した際の医療倫理について、文章の展開に注意しながら理解しようとしている。	○	○	○	29
	定期考査								○	○		1

3 学 期	特別講座 大学入試 2 次対策 個人指導等 英作文・面接対策							単元 【知識及び技能】 関係代名詞、構文、使われているイディオムの特徴や決まりを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 英文の段落・パラグラフの内容を正確に把握している。また、話の要点や話の展開や話し手の意図を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な英文を読んで、要点や話し手の意図を理解しようとしている。				40
	定期考査											0
												合 計
												156

高等学校 令和7年度（3学年用）教科 外国語 科目 ドイツ語専修

6 單位

使用教科書：（ドイツ語ワークブック文法＋問題集（同学社）

の目標：

【思考力、判断力、表現力等】外国語で情報や考えの概要や要点、詳細、意図を的確に理解し、それをもとに自らの考えを形成し、適切に表現できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。

の目標・

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話(発)	書					
	ワークブック第1課～第13課： 【知識及び技能】 CEFR A1レベルのドイツ語基礎文法を修得する。 【思考力、判断力、表現力等】 CEFR A1レベルのドイツ語基礎文法を用いた、読む・書く・聞く・話すの4技能を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ドイツ語特有の文構造、表現を理解する。また、既習事項を駆使したコミュニケーション能力を育成する。	ワークブック第1課～第13課 ・ドイツ語の発音・数詞 ・動詞の現在人称変化(規則動詞) ・冠詞と名詞(単数) ・動詞の現在人称変化(不規則変化動詞) ・命令法 ・男性弱変化名詞・名詞の複数形 ・定冠詞類・不定冠詞類 ・keinとnicht ・人称代名詞・不定代名詞 ・前置詞 ・形容詞・序数 ・不定句・語順・文成分 ・接続詞	○	○	○	○	【知識及び技能】 CEFR A1レベルのドイツ語基礎文法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 CEFR A1レベルのドイツ語基礎文法を身につけ、読む・書く・聞く・話すの4技能に使用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 CEFR A1レベルの独文に触れることによって、ドイツ語特有の文構造、表現を理解しようとしている。また、既習事項を駆使して積極的にコミュニケーションを試みようとしている。	○	○	○	48
1 学 期	定期考査							○	○		1
	ワークブック第14課～第23課： 【知識及び技能】 CEFR A2レベルのドイツ語文法を修得する。 【思考力、判断力、表現力等】 CEFR A2レベルのドイツ語基礎文法を用いた、読む・書く・聞く・話すの4技能を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ドイツ語特有の文構造、表現を理解する。また、既習事項を駆使したコミュニケーション能力を育成する。	ワークブック第14課～第23課 ・動詞の三基本形・分詞の用法 ・現在完了・過去完了 ・未来・話法の助動詞 ・分離動詞・非分離動詞 ・形容詞と副詞の比較級・最上級 ・zu不定詞句 ・再帰動詞・非人称動詞 ・指示代名詞 ・関係代名詞・関係副詞 ・受動	○	○	○	○	【知識及び技能】 CEFR A2レベルのドイツ語文法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 CEFR A2レベルのドイツ語基礎文法を身につけ、読む・書く・聞く・話すの4技能に使用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 CEFR A2レベルの独文に触れることによって、ドイツ語特有の文構造、表現を理解しようとしている。また、既習事項を駆使して積極的にコミュニケーションを試みようとしている。	○	○	○	48
	定期考査							○	○		1
	ワークブック第24課～第25課と文法項目の総復習： 【知識及び技能】 CEFR A2レベルのドイツ語文法を定着させ、CEFR B1レベルの中級文法を修得する。 【思考力、判断力、表現力等】 CEFR B1レベルのドイツ語基礎文法を用いた、読む・書く・聞く・話すの4技能を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 様々なドイツ語の文章に触れることで、ドイツ・ドイツ語的な視点を涵養する。	ワークブック第14課～第23課 ・接続法の形態 ・接続法の用法 大学入試過去問題(センター試験、共通テスト、国立大・私立大の入試問題)を使用し、これまでに学習した文法項目の総復習と定着を図る。また適宜、中級文法についても取り扱う。	○	○	○	○	【知識及び技能】 CEFR A2レベルのドイツ語文法を身につけ、CEFR B1レベルのドイツ語中級文法も理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 CEFR B1レベルのドイツ語基礎文法を身につけ、読む・書く・聞く・話すの4技能に使用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々なドイツ語の文章に触れることで、ドイツ・ドイツ語的な視点を理解しようとしている。	○	○	○	48
2 学 期	定期考査							○	○		1
	独文読解・独作文・文独訳能力の育成： 【知識及び技能】 CEFR B1レベルまでの中級文法を修得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ある程度のもちまりを持った文章を自力で、ドイツ語で書く能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 様々なドイツ語の文章に触れることで、ドイツ・ドイツ語的な視点を涵養する。	大学入試過去問題(センター試験、共通テスト、国立大・私立大の入試問題)を使用し、独文から成る長文読解問題や独作文・文独訳問題に取り組み、また適宜、中級文法についても取り扱う。	○	○	○	○	【知識及び技能】 これまでに学習した文法項目を駆使し、独文から成る長文を理解することができる。また比較的長いドイツ語の文章を和訳することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ある程度のもちまりを持った文章を自力で、ドイツ語で書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々なドイツ語の文章に触れることで、ドイツ・ドイツ語的な視点を理解しようとしている。また、ドイツ語を用いて自らの意見を発信しようとしている。	○	○	○	46
	定期考査							○	○		1
3 学 期	大学入試対策特別講座： ・共通テスト対策 ・私立大学一般受験対策 ・国立大学2次試験対策 ・独作文・文独訳対策 ・個人指導等	生徒の受験する大学に合わせて、過去問題演習を実施する。	○	○	○	○	【知識及び技能】 これまでに学習した文法項目を駆使し、独文から成る長文を理解することができる。また比較的長いドイツ語の文章を和訳することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ある程度のもちまりを持った文章を自力で、ドイツ語で書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々なドイツ語の文章に触れることで、ドイツ・ドイツ語的な視点を理解しようとしている。また、ドイツ語を用いて自らの意見を発信しようとしている。	○	○	○	40
	定期考査							○	○		1

235